流しそうめん

簡単、おいしい、流しそうめん！　名栗の冷たくおいしい水で、涼しげな気分とともにそうめんを味わいましょう。子ども達にも大人気です。ゆで麺での提供となります。別注でかき揚げもつけられます。

※同一時間帯は、飲料水の確保のため、２か所のみの実施となり、調整をさせていただきます。

対象	実施時期	定員	所要時間
３歳以上	５～１０月末	１０～６０人	１時間半～２時間

利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	食堂提供
洗剤・スポンジ・ふきん・台ふきん・油性ペン ※小さい子はフォークがあると便利です。	竹・ざる２・鍋１・さいばし１・ボウル２・おたま１・トング２・キッチンバサミ１・ビールケース２・台２～4・ホースリール１・結束バンド（または、針金）・ペンチ１・テーブル・地面に敷くシート（不織布　５m以上）	そうめん・薬味ネギ・七味唐辛子・麺つゆ・かにかまぼこ・みかん缶・割り箸・発砲スチロール器・ゴミ袋

ねらい

・流しそうめんを通して、参加者同志の交流を図る。
・みんなで協力して作り上げる楽しさを知る。
・他のメンバーとの協力および役割分担を実践する。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
（当日、お渡しする「野外炊事カード」をご記入の上、打ち合わせを行います。）
◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

以降は、団体で進行してください。

準備

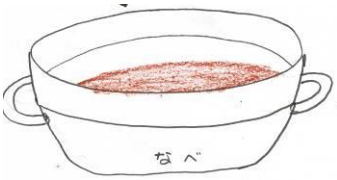
①　食材と用具を受け取り、場所を確認します。
②　使用テーブルを台ふきんで拭きます。
③　炊事用具は塩素消毒してあるので、全て軽く水洗いします。

水		めんつゆ
２～３	：	１

実施

＜つゆ＞

①　つゆはお好みで２～３倍に希釈しておきます。



めんつゆ（２～３倍希釈）

＜会場設置＞　１か所は、避難小屋室内（常設）、もう１か所は、竹や台を設置して、食事広場、第２ファイヤ場・せせらぎ広場などになります。その場合、雨天時は、炊事場か食事広場となります。
避難小屋の常設用の竹や台も、室外に移動して実施することもできます。

② 流しそうめんの竹を設置する場所にシートを敷き、竹、台、ビニルホースを会場に設置します（下記留意点参照）。排水は直接川に流れないように排水溝を作り、地中にしみ込ませます。
③ 竹が固定されているか確認します。出口にはビールケースの上にザルを置きます。
④ 水を流し、竹をたわしで洗います。

食べる

〇流す人と食べる人が交代できるように配慮しましょう。
※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、キャンピングセンター事務室もしくは本館事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、内線でお声がけください。

片付け

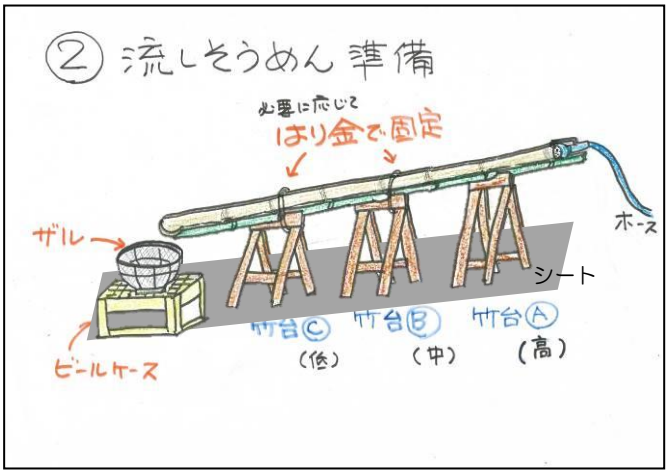
① 竹はそうめんのこびりつきがないようによくたわしで洗います。
② 地面に敷いたシートの上に落ちたそうめんを拾い、シートは丸めて小さくして、燃やすごみで捨てます。
③ 地面に落ちたそうめんを拾います。そのままにすると野生動物を呼びよせてしまいます。
④ ホースは水を抜きます。
⑤ 炊事用具をきれいにして、担当職員のチェックを受け、キャンピングセンターに返却します。
⑥ 洗い場と、水道の網の生ゴミや汚れを落とします（地面に新聞紙をひき、網をひっくり返してたたく）。
⑦ ゴミは分別し（生ゴミ、燃えるゴミ）、所定の場所に捨てます（ペットボトル・缶・ビンは本館脇へ）。
※提供したゴミ袋は、提供食材専用のゴミ袋です。持参した食器等を捨てる場合は、別途ゴミ袋をご購入いただくか、お持ち帰りください。
⑧ 当所職員による点検を受けます。
※片付けを始めるタイミングで、使用した調理器具・使用した場所の確認を当所職員が行いますので、キャンピングセンターまたは本館事務室へお声がけください。
※指導者で点検係を決めていただき、当初職員の点検を受ける前に、団体で必ず点検を行ってください。

まとめ

・ふりかえり

留意点

① 野外での調理になるため、食中毒に注意してください。手洗いをしっかり行ってください。
② 使用した用具や場所はきれいに戻し、片付けをしっかりしてください。



【準備】
- **竹をたわしで洗う**
- **調理器具の水洗い**
- **地面にシートを敷く**

【片づけ】
- **竹、脚などについた麺を落とす**
- **シートや地面に落ちた麺を片づける**
- **竹・脚はキャンピングセンター前に立てて乾かす**

【ポイント】
- **上からだけでなく、途中から麺を流してもよい**
- **ボウルに水をはって麺をほぐしてから流すとよい**
- **流す人は、ゴム手袋の着用推奨**

SDGs の取組

- 水は限りある資源です。大切に使いましょう。
- 食品ロスを減らしましょう。食べきれる量だけよそりましょう。そして残さず食べましょう。
- 下水処理に負荷をかけないために、洗剤を使い過ぎないようにしましょう。